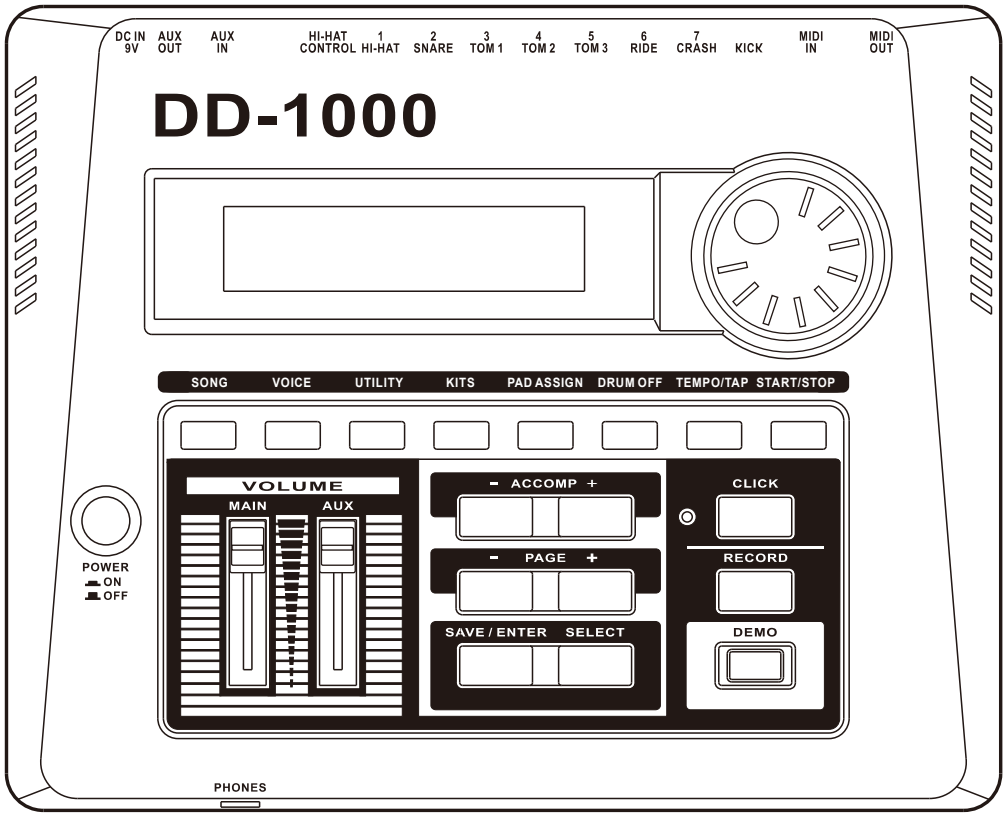
取扱説明書

DIGITAL DRUM

デジタルドラム



安全上のご注意　ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を良くお読み下さい。

この注意事項は、当製品を安全に正しくご使用いただき、事故や怪我等を未然に防ぐ物です。「警告」に記載されている内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重症を負う可能性が想定され、また「注意」に記載されている内容を無視した取り扱いをすると、傷害や物的損害が発生する可能性が想定されますので下記事項は必ずお守り下さい。
またこの取扱説明書は使用者がいつでもすぐに見られる所に大切に保管して下さい。

警告

●機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、怪我や故障の原因となるおそれがあります。

●湿度の高いところでの使用、または保管を避ける。

浴室や雨天時の屋外等で使用，または保管すると、感電や火災、または故障の原因となります。

●水に濡れた場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

水分が十分に乾くまで使用は避けて下さい。感電や火災、または故障の原因となります。

●ACアダプタが破損または断線した場合や使用中に異常なにおいや煙が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがありますので、お買い上げの楽器店または販売元にご相談下さい。

●電源アダプタは必ず付属のものを使用し、電源は交流100Vを使用すること。

異なったアダプタや電源を使用しますと、故障、発熱、火災や感電のおそれがあります。

●電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取り、また手入れをするときは、電源プラグをコンセントから抜く。

感電やショートの原因となります。

注意

●直射日光の当たる場所や、温度の高い所またほこりや振動の多いところでの使用や保管は避ける。

変形や故障の原因となります。

●テレビやラジオ、スピーカー等、他の電化製品の近くで使用しない。

デジタル回路を使用しているため、テレビやラジオ等に雑音が生じる場合があります。

●使用しないときや落雷のおそれがあるときは必ずコンセントから電源アダプタを抜く。

感電、ショートや発火等の原因となります。
または故障の原因となります。

●電源アダプタを抜くときは、コード部分を持たずに、必ずアダプタ本体部を持って抜く。

電源アダプタコードが破損または断線し、感電や火災の原因となります。

●タコ足配線をしない。

音質劣化や誤作動、またはコンセント部分の発熱、火災のおそれがあります。

●不安定な場所に置かない。

機器が転倒し、故障や怪我の原因となります。

●本体を移動するときは、接続ケーブルや電源ケーブルを全て外す。

断線や転倒、怪我の原因となります。

●本体を手入れする際は、ベンジンやシンナー等の有機溶剤、または洗剤や化学ぞうきん等は絶対に使用しない。また本体上にプラスチックゴム製品等を置かない。

本体パネルの変形や変色の原因となります。お手入れは柔らかい布等で乾拭きしてください。

●大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

聴覚障害の原因となります。

●本体の上に乗ったり重い物を乗せたりしない。またボタンやスイッチ、端子等に無理な力を加えない。

本体が破損したり怪我の原因となります。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

目次

基礎編

安全上のご注意…… 2
目次…… 3
各部の名称と機能…… 4
各パッドへの接続…… 4
外部機器との接続…… 5

入門編

DD-1000基本機能一覧…… 6
DD-1000を演奏してみよう…… 7
ソングと一緒に演奏してみよう…… 8

リファレンス編

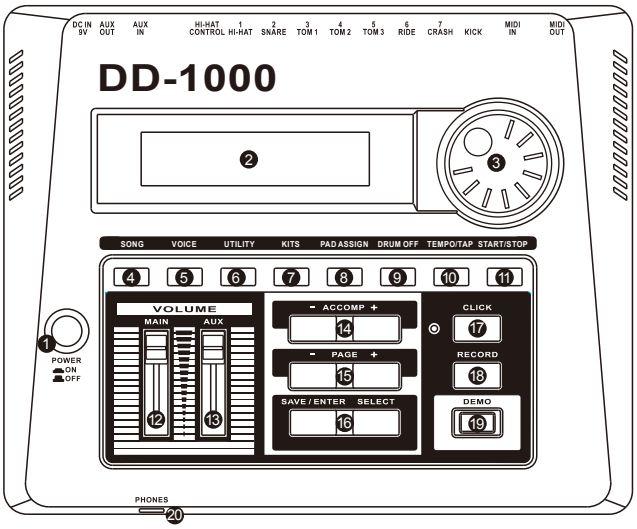
ドラムキットプレイモード…… 10
1.ドラムキット選択画面…… 10
2.ソング選択画面…… 10
3.トリガー及びパッドの入力設定…… 10
ソングについて…… 11
ソングの再生…… 11
ソングの録音…… 11
ドラムキットボイスエディットモード…… 12
1.ボイスの選択…… 12
2.ボイスの設定…… 13
2－1.ボイスの設定…… 13
2－2.ノートナンバーの設定…… 13
2－3.ボリューム、パンの設定…… 13
2－4.ファンクションの設定…… 13
2－5.パッドソングの設定…… 14
2－6.リバーブの設定…… 14
2－7.ドラムキットボイスコピー…… 14
ソングエディットモード…… 15
1.ドラムキットの選択…… 15
2.リピート再生のオン/オフ…… 15
3.マージトラック…… 15
4.プレイバックトラック…… 16
5.クォンタイズ…… 16
6.クリアトラック…… 16
7.ソングのコピー…… 17
8.デリートソング…… 17
ユーティリティモード…… 18
1.パッドトリガーセットアップ…… 18
①セルフリジェクション/リジェクション…… 18
②ゲイン/ベロシティ…… 19
③ベロシティカーブ…… 19
④インクリメント/デクリメント…… 19
2.システム/音源の設定…… 19
①マスターイコライザー…… 19
②ハイハットオフセット…… 19
③トリガーバイパス…… 19
④ファクトリーセット…… 20
3.シーケンサーグループ…… 20
①クリックボイス…… 20
②クリックチューン…… 20
③クリックノートナンバー…… 21
④ユーズテンポ…… 21
⑤MIDIコントロール…… 21
4.エフェクトセットアップ…… 21
①リバーブタイプ、タイム…… 21
5.MIDIセットアップ…… 22
①ローカルコントロール…… 22
②MIDIマージ…… 22
③プログラムチェンジメッセージの受信…… 22
④システムエクスクルーシブメッセージの受信…… 22

資料編

仕様…… 24
ドラムボイスリスト…… 25
プリセットドラムキットリスト…… 27
プリセットソングリスト…… 28
MIDIインプリメンテーションチャート…… 29

各部の名称と機能、及び各パッドへの接続

フロントパネル



❶ POWER（電源スイッチ）
電源のオン/オフの切り替えを行ないます。

❷ LCD（液晶ディスプレイ）
様々な操作を行なう際に必要な情報やデータが表示されます。

❸ DATA DIAL（データ･ダイヤル）
様々な数値やデータの切り替えを行ないます。

❹ SONG（ソング･ボタン）
ソングの選択画面に入ります。

❺ VOICE（ボイス･ボタン）
ボイスの選択画面に入ります。

❻ UTILITY（設定･ボタン）
この音源モジュールの細かな設定を行なう画面に入ります。

❼ KITS（キット･ボタン）
キットの選択画面に入ります。

❽ PAD ASSIGN（パッド割り当て･ボタン）
各パッドに割り当てる音色等を設定する画面に入ります。

❾ DRUM OFF（ドラム･オフ･ボタン）
ソング演奏時にドラムのプリセット演奏をオフにします。

❿ TEMPO/TAP（テンポ･タップ･ボタン）
テンポの切り替え画面に入ります。またテンポのタップ入力画面に入ります。

⓫ START/STOP（スタート･ストップ･ボタン）
ソングの再生や録音の開始や停止を行なうボタンです。

⓬ MAIN VOLUME（メイン･ボリューム･スライダ）
DD-1000全体の音量を調節します。

⓭ AUX VOLUME（外部入力･ボリューム･スライダ）
AUX IN 端子に入力された信号の音量を調節します。

⓮ ACCOMP +/-（伴奏ボリューム･ボタン）
ソングの伴奏（ドラムパート以外）の音量を調節します。

⓯ PAGE +/-（ページ切り替えボタン）
それぞれの選択画面のページを切り替えます。

⓰ SAVE/ENTER SELECT（保存･決定･選択ボタン）
変更した値の決定･保存を行なうボタンです。

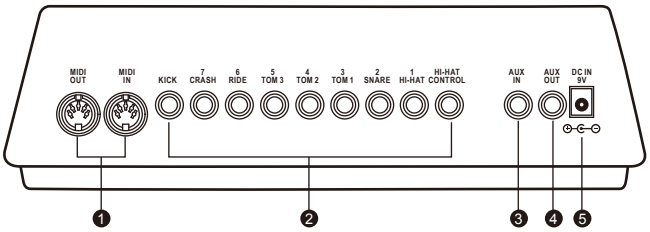
⓱ CLICK（クリック･ボタン）
演奏時のクリック音（メトロノーム機能）のオン/オフの切り替えを行ないます。

⓲ RECORDING（レコーディング･ボタン）
ソングのレコーディング･モードに入ります。

⓳ DEMO（デモ演奏･ボタン）
内蔵されているデモ演奏を聞くことが出来ます。

⓴ PHONES（ヘッドフォン･ジャック）
ヘッドフォンを使用するときに接続する端子です。

リアパネル



❶ MIDI IN/OUT（MIDIイン･アウト端子）
外部のMIDI機器とのMIDIデータの送受信を行なう為の端子です。

❷ TRIGGER INPUT（トリガー入力端子）
パッドやトリガーセンサーを接続する端子です。パネルに書かれたパッドを接続します。

❸ AUX IN（外部入力端子）
CDやMD等、外部の音源を入力する端子です。ここに入力された音声信号は
本体のサウンドとミックスされ、AUX OUT端子やPHONES端子へ出力されます。

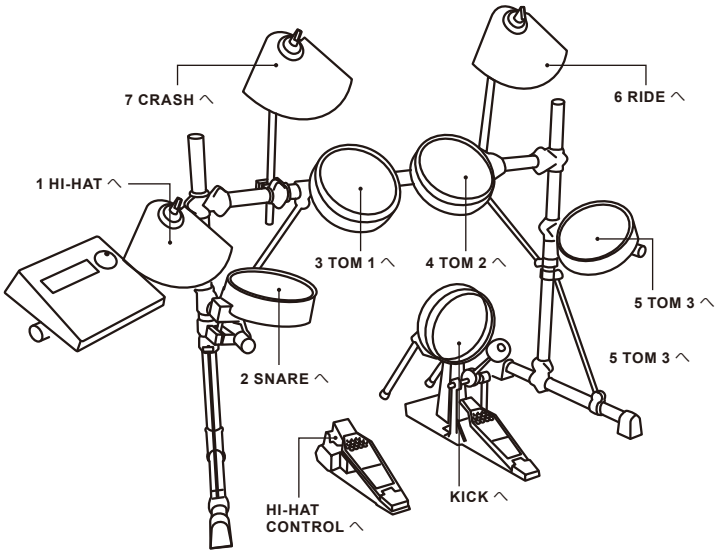
❹ AUX OUT（外部出力端子）
外部アンプやミキサー等へ出力する端子です。

※ステレオ端子になっているのでステレオケーブルを使用してください。
モノラルケーブルを使用した場合、片方の音声しか出力されないのでご注意下さい。

❺ DC IN 9V（電源端子）
付属の電源アダプタを接続します。本体に電源を供給します。

各パッドへの接続

下の図を参考に、各パッドからの出力ケーブルをDD-1000のリアパネルの各トリガー入力端子に接続します。



注意！
接続機器への電気ショックおよび損傷を防止するために、全ての接続を開始する前に音源モジュールおよび全ての接続機器のスイッチがオフされていることを確認します。

※HI-HAT CONTROL端子はステレオ入力になっているので、必ず指定されたステレオケーブルを使用してください。

注意！
当製品をそのまま床に設置して使用すると、床面を傷つけるおそれがありますので、ドラムマット等の上に設置することをおすすめします。

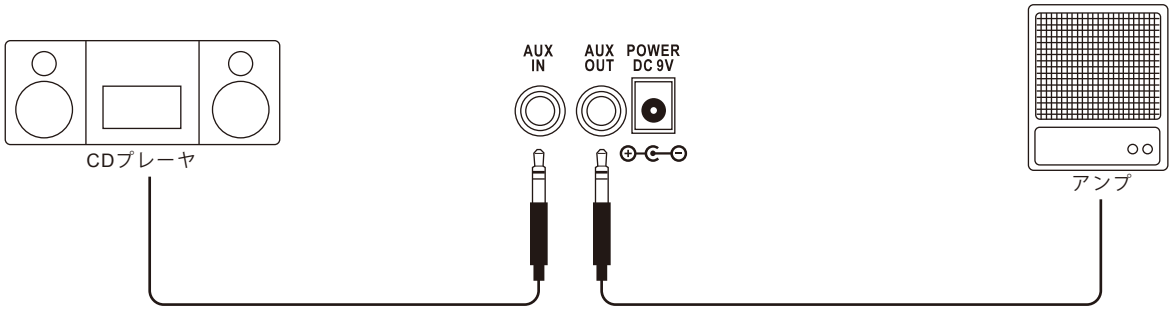
外部機器との接続

■ ミキサーやオーディオ機器、CDプレーヤーとの接続

●AUX OUT端子にミキサーやオーディオ機器を接続して外部スピーカーを鳴らしたり、自分の演奏を録音したりすることが出来ます。

●AUX IN端子にCDプレーヤーやカセットデッキを接続することで、CDやカセット、MD等の出力とDD-1000のサウンドとをミックスして出力させることが出来ます。入力した外部信号の音量は、フロントパネルのAUX VOLUMEスライダで調節することが可能です。

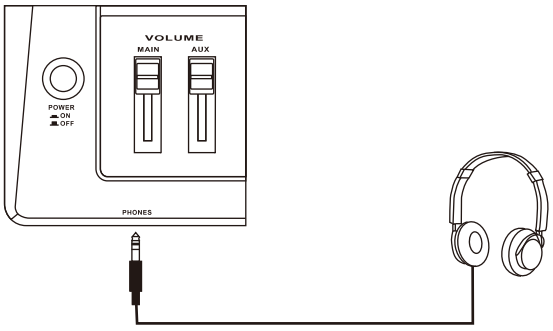
※AUX IN/OUT端子はステレオ標準ジャックになっていますので、外部機器と接続する場合は必ずステレオケーブルを使用してください。



■ ヘッドフォンの接続

●ヘッドフォン（別売り）でDD-1000のサウンドを聴きたい場合は、フロントパネルのPHONE端子（ステレオ標準）に接続します。ヘッドフォンの音量はフロントパネルのMAIN VOLUMEスライダで調整します。

※ヘッドフォンをご使用になる場合は、耳を刺激しすぎないよう適度な音量に調節してお楽しみ下さい。

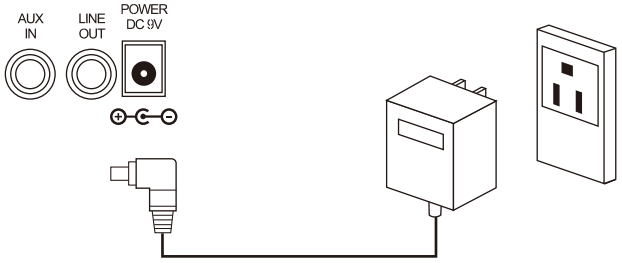


■ 電源の接続

●DD-1000は専用電源アダプタで作動します。本体の電源スイッチがオフになっていることを確認し、付属の電源アダプタをリアパネルのPOWER DC 9V端子に接続します。

※電源を入れる前に、フロントパネルのMAIN VOLUMEスライダを最小に絞っておきましょう。またDD-1000に接続している外部機器の電源は、切った状態にしておきます。DD-1000の電源を入れた後で順次入れていきます。

※長時間ご使用にならない場合は、電源アダプタをコンセントから外してください。

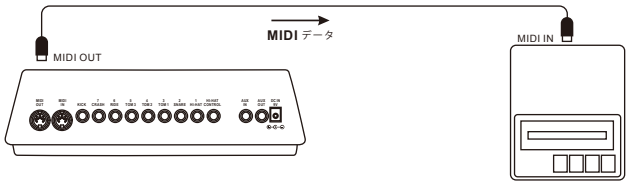


■ MIDI機器の接続

●MIDI IN/OUT端子を使って外部MIDI機器とMIDI情報のやり取り行う事が出来ます。また、DD-1000のデータを外部のMIDIデータファイラー等のMIDI機器に保存することが出来ます。また、外部のシーケンサーをDD-1000の音源を使って鳴らすことも出来ます。

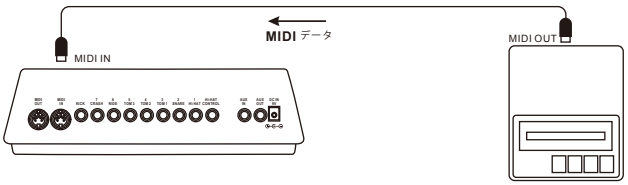
・MIDIデータの送信

DD-1000のMIDI OUT端子と、外部MIDI機器のMIDI IN端子をMIDIケーブルで接続します。



・MIDIデータの受信

DD-1000のMIDI IN端子と、外部MIDI機器のMIDI OUT端子をMIDIケーブルで接続します。



DD-1000基本機能一覧

ソングを選んで聴くには

1. [SONG] ボタンを押して下の画面を出し、

2. ソングナンバーの表示が点滅しているのを確認し、

3. データダイアルを回してソングを選ぶ。

4. [START/STOP] ボタンを押して再生。

ソングのテンポを変えるには

1. [TEMPO/TAP] ボタンを押して下の画面を出し、

2. テンポの表示が点滅しているのを確認し、

3. データダイアルを回してテンポを設定。

ドラムキットを選ぶには

1. [KITS] ボタンを押して下の画面を出し、

2. ドラムキットナンバーが点滅しているのを確認し、

3. データダイアルを回してドラムキットを選択。

パッドに割り当てた音色を変えるには

1. [SONG] ボタンを押して下の画面を出し、

2. ボイスを変えたいパッドを叩いてそのパッドを選択、

3. ボイスの分類が点滅しているのを確認し、

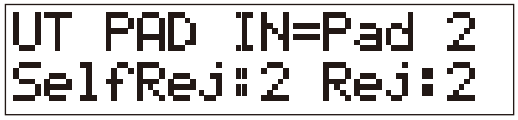
4. データダイアルを回してボイスの分類を選択。

5. 次に [SELECT] ボタンを押してボイス番号を点滅させ、

6. データダイアルを回してボイスを選択。

パッドの感度を変えるには

1. [UTILITY] ボタンを押して下の画面を出し、



2. [PAGE+] ボタンを１回押して下の画面を出し、

3. 感度を変えたいパッドを叩いてそのパッドを選択。

4. ゲインの数値が点滅しているのを確認し、

5. データダイアルを回して値を設定。

変更した設定を保存するには

1. それぞれのモードで設定の変更を行なったら

2. [SAVE/ENTER] ボタンを押して下の画面を表示させ、

3. もう一度 [SAVE/ENTER] ボタンを押して設定を保存。

注:プリセットデータへの上書き保存は出来ません。

DD-1000を演奏してみよう

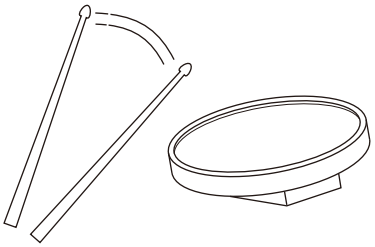
1. 電源を入れる

パッドや周辺機器などの各機器が正しく接続されていることを確認し、フロントパネルのPOWERスイッチを押して電源を入れます。
以下のようなソング・セレクトの画面が表示されたら準備完了です。

※スピーカー保護の為、DD-1000の電源を先に入れ、その後ミキサーやアンプの順でオーディオ機器の電源を入れてください。

2. パッドを叩いてみよう

パッドを叩きながらMAIN VOLUMEつまみを少しずつ上げていき、全体の音量を好みの大きさに調整しましょう。



3. デモソングを聴いてみよう

[DEMO] ボタンを押してデモソングを開始します。
デモソングを停止するには再度 [DEMO] ボタンを押すか、または [START/STOP] ボタンを1度押します。

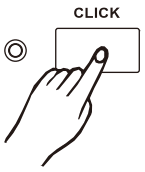
4. ドラムキットを変えてみよう

パッドを叩いたときになる音色を、キットごとに変えてみましょう。キット・ナンバー1～30にはプリセットされたドラムキットが30種類用意されています。

[KITS] ボタンを押し、下記のような画面が出たらデータ・ダイアルでキット・ナンバーを変更します。

5. メトロノームを鳴らしてみよう

CLICKボタンを押すとメトロノームがスタートします。
メトロノームのテンポに合わせてランプが点滅します。
もう一度CLICKを押すとメトロノームが停止します。



CLICKのテンポを変更するにはTEMPO/TAPボタンを押し下記の画面を表示させた後、データダイアルを使って好みのテンポに調節してください。

プリセットソングには、あらかじめソングのテンポにあったメトロノームが設定されています。ソング全体のテンポを変えると、それに併せてメトロノームのテンポも変化します。

ソングと一緒に演奏してみよう

DD-1000には、ドラム練習に適したプリセットソングが50曲用意されています。
ここでは、プリセットソングに合わせて演奏してみましょう。

1. ソングを選ぶ

DD-1000にセットされているソングを選んで聴いてみましょう。
ソングナンバー1～30にはあらかじめ作成されたプリセットソングが用意されています。

[SONG]ボタンを押すと、LCD表示が次のようになります。

ソングナンバー　ソング名

ソングナンバーが点滅している間に、データダイアルを回し、ソングを選びます。

2. ソングを聴く

[START/STOP]ボタンを押すとソングが先頭からスタートします.

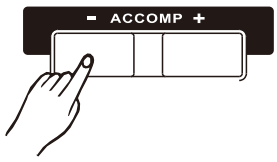
3. ドラムパートのミュート

それではソングと一緒に演奏してみましょう。[DRUM OFF]ボタンを押してから、[START]ボタンを押してソングを再生してみましょう。ソングの中のドラムパートがミュート（発音させない）されます。ドラムパートはあなたが演奏しましょう。

画面右側に 0 が表示されていれば、ドラムパートはミュートされています。
ミュートを解除するには、もう一度[DRUM OFF]ボタンを押します。

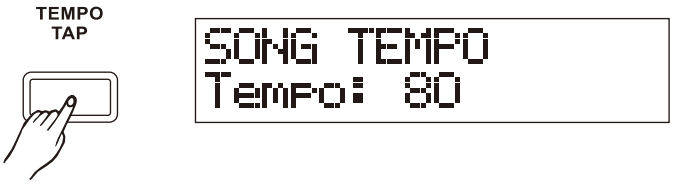
4. ソングの音量を調節しよう

ソングの音量は[ACCOMP +][ACCOMP-]で調節します。MAIN VOLUME（全体の音量）と合わせて、演奏音とソングの音量とのバランスを調整してください。



5. ソングのテンポを変えてみよう

[TEMPO/TAP]ボタンを押すと、テンポ設定画面が表示されます。テンポ値が点滅しているので、メトロノームの場合と同じようにデータダイアルを回して好みのテンポ（♪30～280）に設定します。



6. クリックを鳴らしながら演奏してみよう

ドラムパートをミュートすると、テンポがとりづらくなります。そのような場合はソングと同時にメトロノームを作動させ、クリック音を流すと演奏し易くなります。[CLICK]ボタンを押すとメトロノームがソングのテンポに従ってスタートします。もう一度[CLICK]ボタンを押すとクリックは停止します。

7. ドラムキットを変更してみよう

ソングをもっと違うドラムキットで鳴らしたい場合は、[KITS]ボタンを押し、ドラムキット選択画面でドラムキット・番号を変更します。番号の変更はデータダイアルで行ないます。

この作業は、ソング演奏中にも行う事が出来るので、実際に音を確認しながら好みのキットを選びましょう。

リファレンス編

DD-1000の各機能について詳しく説明しています。
各モードごとに、表示されるページ順に記載されています。

ドラムキットプレイモード・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
ソングについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
ドラムキットボイスエディットモード・・・・・・・１４
ソングエディットモード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
ユーティリティモード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

ドラムキットプレイモード

DD-1000に接続したパッドを叩いて演奏するモードです。DD-1000の電源を入れると、このモードになります。

■ドラムキットプレイモードの内容

ドラムキットプレイモードには、以下の３つの設定画面があります。

1. ドラムキット選択画面
   ドラムキットの選択をする画面です。
   [KITS]を押して表示させます。
2. ソング選択画面
   ソングの選択と再生テンポなどを設定する画面です。
   [SONG]を押して表示させます。
3. トリガー及びパッドの入力設定画面
   トリガー及びパッドの入力設定をする画面です。
   [UTILITY]ボタンを押して表示させます。

１．ドラムキット選択画面

ドラムキットの選択をする画面です。

現在選択されているドラムキットナンバーが表示されます。
1～30のプリセットの中から選択してください。キットナンバーの値は、データダイアルで変更を行ないます。

２．ソング選択画面

ソングの選択をする画面です。

現在選択されているドソングナンバーとソング名が表示されます。
1～50のはプリセットソング、51～54はユーザーソングとなっています。
ソングナンバーの値は、データダイアルで変更を行ないます。

・ソングに使用するドラムキットの選択

上記画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと、キットセレクトソングリピートのオン/オフの》設定画面が表示されます。

選択したソングを演奏するドラムキットを選択します。ドラムキットナンバーの変更は、データダイアルを使用します。

・ソングの繰り返しのオン/オフ

上記画面が表示された状態で、[SELECT]ボタンを押し、画面右側の

"off"が点滅すると、とソングリピートのオン/オフの切り替えモードに入ります。ソングを繰り返し演奏させるには、データダイアルを回し、Repをonの状態にして下さい。

３．トリガー及びパッドの入力設定

トリガー及びパッドの入力に関しての設定を行なう画面です。

・セルフリジェクション/リジェクション

この機能は各パッド同士の入力信号の相互干渉(クロストーク)及びダブルトリガー(２度鳴り)を防止するための設定を行なう画面です。設定の仕方はトリガーセットアップモードの章をお読み下さい。

・パッドの入力ゲイン及びMIDIベロシティの設定

上記画面が表示された状態で、[PAGE+]ボタンを押すと、下記の画面が表示されパッドの入力ゲイン/MIDIベロシティの設定を行う事が出来ます。この機能は各パッドの入力感度(GAain)及び最小ベロシティ(MIDI Velocity)を設定する機能です。
設定の仕方はトリガーセットアップモードの章をご覧下さい。

・パッドトリガーのベロシティカーブの設定

上記画面が表示された状態で、[PAGE+]ボタンを押すと、下記の画面が表示されパッドトリガーのベロシティカーブを設定することが出来ます。この機能は各パッドにおけるMIDIベロシティカーブの感度を設定するもので、設定の仕方はトリガーセットアップモードの章をお読み下さい。

ソングについて

DD-1000には、54曲のソングデータを内部に記憶しており、それらを自由に再生することが出来ます。ソングナンバー1～50はプリセットソングで、ソングデータを書き換えることは出来ません。ソングナンバー51～54はユーザーソングで、新たに演奏を録音したり書き換えたりすることが出来ます。

■ソングの構成

ソングは2つのシーケンストラックとデータトラックで構成されています。
データトラックにはその曲のテンポ、拍子、MIDIチャンネルごとのプログラムナンバー(音色)や音量などのソング情報が書き込まれています。ソングを先頭から再生するとこのデータトラックが読み込まれます。
2つのトラックは、どちらもmidiチャンネル1～16のデータを持つことが出来ます。
ソングを再生し、ソングに書き込まれているシーケンスデータをDD-1000内部の音源に送ることで、ソングを鳴らします。

ソングの再生

■ソングの再生

・ソングの選択

[SONG]ボタンを押して下記のソング選択画面を表示させます。

データダイアルを回し、再生したいソングの番号を設定合います。

・音量調節

ドラムパート以外の音量を設定するには[ACCOMP+][ACCOMP-]ボタンで行います。また全体の音量を調節するにはMAIN VOLUMEスライダを使って音量調節をお行います。

・メトロノームの設定

クリック音の音色、音程、MIDIノートナンバーを設定することが出来ます。設定方法はユーティリティモードの章のクリックボイスの設定の項をお読みください。

・リズムミュート機能

[DRUM OFF]を押すと、ソングのトラックうち、ドラムボイスになっているMIDIチャンネルがミュートされます。

・ユーズ・テンポのオン/オフ

ソング切り替え時、ソングがもつあらかじめ設定されたテンポを使用するかどうかを設定できます。詳しくはユーティリティモードの章のユーズ・テンポの項をお読みください。

・外部からのMIDIコントロール

DD-1000のMIDI IN端子を外部MIDI機器と接続した状態でリアルタイムメッセージ受信をオンにすれば、外部MIDI機器からDD-1000のシーケンサーをコントロール(スタート・ストップ・コンティニュー)することが出来ます。詳しくはユーティリティモードの章、MIDIコントロールの項をお読みください。

ソングの録音

ドラムキットを演奏した情報を、シーケンサー(1トラックずつ)にリアルタイム録音することができます。すべてのMIDIチャンネルについて同時に録音されます。また、MIDI IN端子に接続したキーボード等の外部MIDI機器のデータも録音する事が可能です。

■ソングの録音時の設定

・ソングの選択

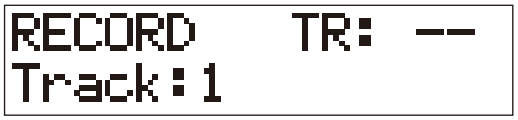
[SONG]を押してソング選択画面を表示させ、録音先のユーザーソング番号(51～54)を設定します。

・録音のスタンバイ

ソング選択画面が表示された状態で、[RECORD]ボタンを押すと以下のような表示となります。

・録音トラックの選択

上記画面が表示された状態で[PAGE+]を押すと、以下の画面が表示され、録音トラックの選択画面に入ります。録音したいトラックを1～2から選択します。トラックの選択はデータダイアルで行ないます。



・録音スタンバイの完了

上記画面が表示された状態で[PAGE+]を押すと以下の画面が表示され、選択したトラックへの録音のスタンバイが完了します。[

・録音の開始・終了

上記画面が表示された状態で、START/STOP]ボタンを押すか、パッドを叩くことで録音が開始します。

もう一度[STARY/STOP]ボタンを押すと、録音は終了し、自動的にソングの選択画面に戻ります。

一度録音したトラックは、ソングエディットモードのクリアトラック、またはデリートソングにより録音したトラックを消去しない限り、録音することが出来ません。

ドラムキットボイスエディットモード

現在選択されている個々のパッド(トリガー入力ソース)ごとに、どのボイスをどのように鳴らすかを設定する為のモードです。

■ドラムキットボイスエディットモードで出来ること

ドラムキットボイスエディットモードでは、現在選択されているドラムキットを対象に、各種設定を行なうモードです。
内蔵されている1～30の全てのドラムキットのエディットが可能です。
エディットしたドラムキットは、SAVEを行うことによりドラムキットナンバー21～30に保存することが可能です。
このモードでは以下の7つの項目の設定を変更することが可能です。

1. **パッドの入力ソースごとのボイス(音色)の選択**
2. **パッドの入力ソースごとのMIDIノートナンバーの設定**
3. **パッドの入力ソースごとのボリューム、パンの設定**
4. **パッドの入力ソースごとのファンクションの設定**
5. **ファンクションでソングを割り当てたときのソングナンバーの設定**
6. **パッドの入力ソースごとのリバーブ値の設定**
7. **パッドの設定のコピー**

■ドラムキットボイスエディットモードの設定手順

1. [KITS]ボタンを押し、ドラムキット選択画面を表示させ、エディットを行なうドラムキットを選択します。

2. [VOICE]ボタンを押すと以下の画面が表示され、ドラムキットボイスエディットモードに入ります。

3. [PAGE+][PAGE-]ボタンを押して、エディットしたい項目の画面を表示させます。

4. 1つの画面に2つ以上の項目があるときは、[[SELECT]ボタンを押して設定したい項目を点滅させます。

5. データダイアルを回し、値やオン/オフを設定します。

6. 保存を行なう場合は以下の手順で操作を行ないます。

・[SAVE/ENT]ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。

・データダイアルを回し、保存先のドラムキット番号(21～30)を指定します。

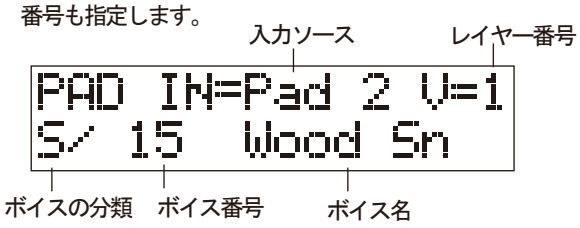
・もう一度[SAVE/ENT]を押すと保存は完了し、保存を開始する前の画面に戻ります。

1. ボイスの選択

パッドの入力ソースごとに音色を設定します。
パッドの入力ソースとは、DD-1000の計9つのパッド入力端子に接続しているパッドから送られるトリガー情報の種類を意味します。

■エディットする入力ソースの選択

ドラムキットボイスエディットモードの設定画面では、それぞれエディットの対象となる入力ソースを選択してから設定を行ないます。
また、1つのトリガー入力に対して2つのボイス/キーオンを発音/発生(パッドを叩くと同時に2つのボイスが鳴る)させることが出来ます。これを2レイヤーといい、2レイヤーに設定している場合は、どちらのレイヤーかレイヤー番号も指定します。



1. IN(入力ソース)

入力ソースの選択は、設定を行ないたいパッドを叩くことで自動的に切り替わります。各入力ソースの画面上での表示の意味は以下の通りです。

Pad 1	トリガー入力端子 [KICK]のパッド入力
Pad 2	トリガー入力端子 [2 SNARE]のパッド入力
Pad 3	トリガー入力端子 [3 TOM 1]のパッド入力
Pad 4	トリガー入力端子 [4 TOM 2]のパッド入力
Pad 5	トリガー入力端子 [5 TOM 3]のパッド入力
Pad 6	トリガー入力端子 [6 RIDE]のパッド入力
Pad 7	トリガー入力端子 [7 CRASH]のパッド入力
Open	トリガー入力端子 [HI-HAT]のオープン時のパッド入力
Close	トリガー入力端子 [HI-HAT]のクローズ時のパッド入力
Pedal	トリガー入力端子 [HI-HAT CONTROL]のペダル入力

2. レイヤー番号

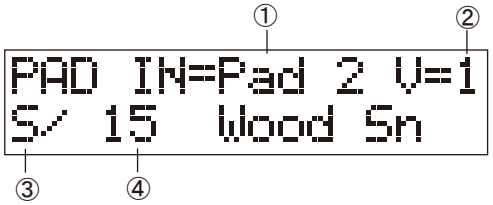
2レイヤー(1つのパッドを叩いたときに2つのボイスを同時に鳴らす)で鳴らす場合は、ここでどちらのレイヤーを設定の対象にするかを選びます。1ボイスしか設定されていない場合は、1または2のどちらかのボイス名が下記のように表示されます。

同じドラムキットの中で、複数のパッドで同じMIDIノートナンバーを設定している場合は、トリガー入力端子の番号が小さい物の設定が優先され、どのパッドを叩いても同じ音(設定)で鳴ります。

2. ボイスの設定

1. ボイスの設定

パッドの入力ソース①ごとに、その入力で鳴らす音色(ドラムボイス)③④を設定します。1つの入力ソース(1つのパッドを一回叩く)で2音色②を同時に鳴らすことが出来ます。



上記画面が表示された状態で[SELECT]ボタンを押すと、①、②、③、④の順に各項目が点滅します。設定を行ないたい項目を点滅させてから、値の変更をデータダイアルで行なってください。

①IN(入力ソース)…どのパッドからのトリガー入力に対して設定を行なうのかを設定します。変更したいパッドを叩くことでパッドの番号が変わります。

②レイヤー番号 …設定対象の入力ソースとレイヤーを指定します。

③ボイスの分類 …①で指定した入力ソースの②で指定したレイヤーで発音するドラムボイスの分類を設定します。
それぞれの記号の意味する分類は下記の通りです。

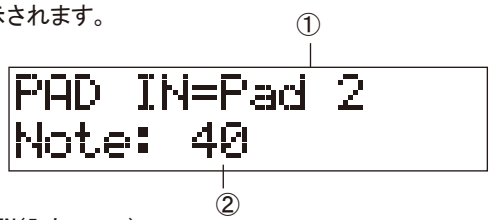
K :アコースティック系キック
k :エレクトリック系キック
S :アコースティック系スネア
s :エレクトリック系スネア
T :アコースティック系タム
t :エレクトリック系タム
C :シンバル
H :ハイハット
P :パーカッション

④ボイス番号 …割り当てるボイスを選択します。ボイス番号とボイス名が表示されます。この値を0に設定すると、NoAssignと表示され、音が鳴らなくなります。ドラムボイスの一覧は「ドラムボイスリスト」の章をご覧下さい。

2. ノートナンバーの設定

パッドの入力ソースのレイヤーごとに、その入力があったときに出力するMIDIノートナンバーを設定します。

ボイスの設定画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



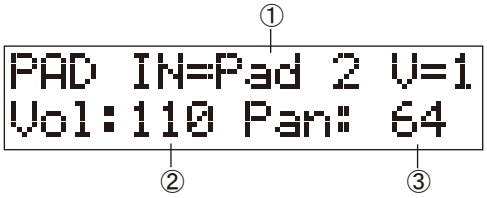
①IN(入力ソース)

②MIDIノートナンバー…MIDIノートナンバー(1～127)を設定します。
値の変更はデータダイアルで行ないます。

3. ボリューム、パンの設定

パッドの入力ソースのレイヤーごとに、その入力があったときに出力するドラムボイスの音量②とパン③(ステレオの定位)を設定します。

ノートナンバーの設定画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



①IN(入力ソース)

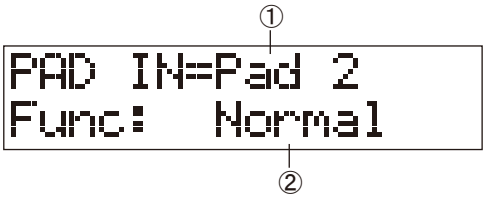
②ヴォリューム …設定範囲 0～127 データダイアルを回して設定を行ないます。

③パン …設定範囲 0～127 0が最も左に、64がセンター、127が最も右に鳴ります。データダイアルを回して設定を行います。

4. ファンクションの設定

パッドの入力ソースからのトリガーにより、通常のボイスを鳴らす他に別の機能②をコントロールすることが出来ます。

ボリューム、パンの設定画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



①IN(入力ソース) …設定対象の入力ソース(パッド)を設定します。

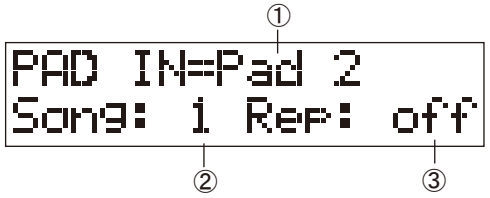
②ファンクション …トリガー入力(パッドを叩く)によりコントロールする機能を設定します。それぞれの記号の意味は以下の通りです。

"Normal" 通常の発音動作をします。
"Click onoff" クリック音のオン/オフを行ないます。
"Start/Stop" 現在ドラムキットプレイモードで選択されているソングの再生/停止を行ないます。
"Pad Song" メインソングとは独立して設定されたソング(パッドソングの設定の項参照)の再生/停止を行ないます。

5. パッドソングの設定

パッドソングの設定を行ないます。この設定は、先のファンクションの設定で Pad Song を選択しているときのみ有効となります。

ファンクションの設定画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

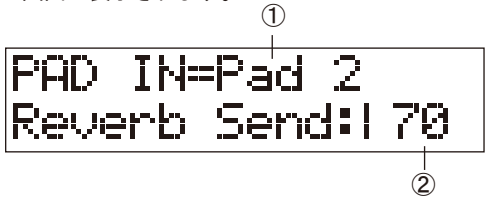


①IN(入力ソース)　…設定対象の入力ソース(パッド)を設定します。
②SONG(ソングナンバー)　…パッドソングに割り当てるソング番号を割り当てます。
③REPEAT(リピート)　…リピート再生のオン／オフを設定します。

6. リバーブの設定

入力ソースごとのリバーブのかかる度合いを設定します。

パッドソングの設定画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

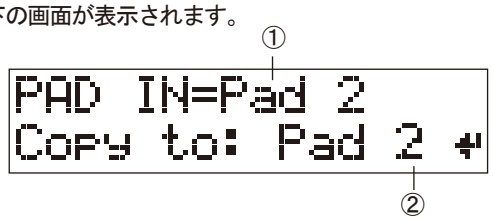


①IN(入力ソース)　…設定対象の入力ソース(パッド)を設定します。
②リバーブセンド　…入力ソースごとに、マスターリバーブへ送る信号の大きさを設定します。データダイアルを回し、値0～127を入力します。値が大きいほどリバーブのかかり具合が大きく、0にするとリバーブはかからなくなります。

7. ドラムキットボイスコピー

入力ソースごとに設定した全ての設定内容を、他の入力ソースにコピーします。

リバーブセンドの設定画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



①IN(コピー元の入力ソース) …コピー元の入力ソース(パッド)を設定します。
②TO(コピー先の入力ソース) …コピー先の入力ソース(パッド)を決定します。

・上記画面でコピー元とコピー先の入力ソースを指定し、[SAVE/ENTER]を押すと、以下の画面が表示されます。

・もう一度[SAVE/ENTER]を押すと、コピーが完了します。キャンセルする場合は[VOICE]ボタンを押してください。ドラムキットボイスエディットモードの最初の画面に戻ります。

ソングエディットモード

現在選ばれているユーザーソング(51～54)について、様々な編集を行うためのモードです。

■ソングエディットモードで出来ること

ソングエディットモードでは、以下の8つの設定を行うことが出来ます。

1. **ドラムキットの選択**
2. **リピート再生のオン/オフ**
3. **マージトラック**
4. **プレイバックトラックの選択**
5. **トラックのリズム補正(クォンタイズ)**
6. **トラックの消去(クリーントラック)**
7. **ソングのコピー**
8. **ソングの消去(デリートソング)**

■ソングエディットモードの設定手順

1. [SONG]ボタンを押すと,以下の画面が表示されます。

ソングナンバー　　ソング名

2. データダイアルを回し、エディットを行うユーザーソング(51～54)を選択します。

3. [PAGE+][PAGE-]を押して、設定を行う項目の画面を表示させます。

4. ひとつの画面に2つ以上の設定項目がある場合は、[SELECT]ボタンを押して、設定を行いたい項目を選択します。選択された項目が点滅します。

5. データダイアルを回し、各項目の値やオン/オフを設定します。

※設定の変更を保存できるのは、ユーザーソング(51～54)のみとなります。プリセットソング(1～30)のエディットを行いたい場合はプリセットソングをユーザーソングにコピーしてからエディットを行ってください。

1. ドラムキットの選択

選択されたソングで使用されるドラムキットの選択を行います。

ソングの選択画面が表示された状態で[PAGE+]を押すと以下の画面が表示されます。

ドラムキットナンバー

ドラムキットナンバーが点滅している状態でデータダイアルを回しドラムキットナンバーを選択します。

2. リピート再生のオン・オフ

選択されているソングのリピート再生を行うかどうかの設定を行います。

ドラムキットの選択画面が表示されドラムキットナンバーが点滅している状態で[SELECT]ボタンを押すと off が点滅します。

リピートのオン/オフ

2. データダイアルを回し、オン/オフの切り替えを行います。

3. マージトラック

ユーザーソングのトラック1とトラック2のシーケンスデータをマージ(ミックス)し、トラック1にまとめます。

ドラムキットの選択画面が表示された状態で[PAGE+]を押すと以下の画面が表示されます。

上記画面が表示された状態で[SAVE/ENTER]ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

上記画面が表示された状態でもう一度[SAVE/ENTER]ボタンを押すと画面上に Complete! と表示され、マージトラックが完了し、画面はソングの選択画面に戻ります。

※選択されているソングがプリセットソング(1～50)の場合は、下記のメッセージが表示され、設定の変更を行なうことが出来ません。ソングの選択画面でユーザーソング(51～54)を選びなおしてください。

4. プレイバックトラック

選択されたソングで演奏されるトラックを設定します。

マージトラック選択画面が表示された状態で[PAGE+]を押すと以下の画面が表示されます。

選択可能トラックの表示は以下の通りです。

TR: —	どちらのトラックにも演奏データがありません。
TR: 1	1トラックのみに演奏データが書き込まれています。
TR: 2	2トラックのみに演奏データが書き込まれています。
TR: 1&2	1~2の全てのトラックに演奏データが書き込まれています。

プレイバックするトラックをデータダイアルを回して設定してください。画面上の標示の意味は下記の通りです。

Play Back: 1	ソング再生時に1トラックのみ出力します。
Play Back: 2	ソング再生時に2トラックのみ出力します。
Play Back:1&2	ソング再生時に1,2トラックとも出力します。

5. クォンタイズ

選択されたユーザーソングのトラックごとにクォンタイズをかけます。

※クォンタイズとは、タイミングがずれて録音されたシーケンスデータを正確なタイミングに補正する機能です。

プレイバックトラックが表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

クォンタイズの精度は以下の通りです。

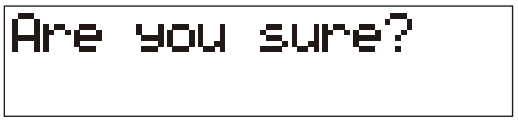
1/4	:4分音符
1/8	:8分音符
1/12	:8分音符(3連)
1/16	:16分音符
1/24	:16分音符(3連)

クォンタイズを行う手順

1. クォンタイズの精度が点滅している状態でデータダイアルを回し、値を設定します。

2. [SELECT]ボタンを押してクォンタイズを行うトラックを点滅させ、対象トラックを設定します。

3. [SAVE/ENTER]ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。



4. もう一度[SAVE/ENTER]ボタンを押すと画面に Complete! と表示され、クォンタイズが完了します。
クォンタイズを中止する場合は[SONG]ボタンを押してください。
クォンタイズが完了すると画面はソングの選択画面に戻ります。

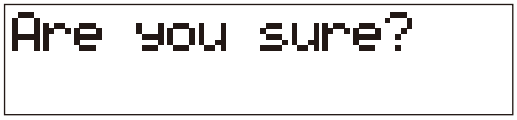
※ソングの演奏中はクォンタイズ処理を行なうことが出来ません。

6. クリアトラック

選択されたユーザーソングの指定したトラックのデータを全て消去します。

クォンタイズの画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

データダイアルを回し、消去するトラックを選択し、[SAVE/ENTER]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



もう一度[SAVE/ENTER]ボタンを押すと、画面に Complete! と表示され、トラックの消去が完了します。
クリアトラックを中止する場合は[SONG]ボタンを押してください。
トラックの消去が完了すると画面はソングの選択画面に戻ります。

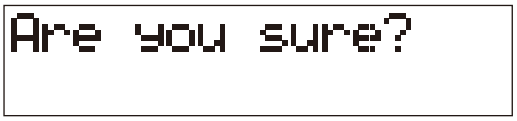
7. ソングのコピー

指定したソングを、現在選択しているユーザーソングにコピーします。

クリアトラック画面が表示された状態で[PAGE+]を押すと以下の画面が表示されます。

コピー元のソングナンバー

データダイアルを回してコピー元のソングナンバー(1～50)を設定し、[SAVE/ENTER]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



もう一度[SAVE/ENTER]ボタンを押すと、画面に Complete! と表示され、ソングのコピーが完了します。
ソングのコピーを中止する場合は、[SONG]ボタンを押してください。
ソングのコピーが終了すると、画面はソングの選択画面に戻ります。

※ソングの演奏中はコピーソングを行なうことが出来ません。

8. デリートソング

選択しているユーザーソングのトラック1とトラック2の全てのデータを消去します。

ソングのコピー画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

上記画面が表示された状態で[SAVE/ENTER]ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

もう一度[SAVE/ENTER]ボタンを押すと、画面に Complete! と表示され、デリートソングが完了します。
デリートソングを中止する場合には[SONG]ボタンを押してください。
デリートソングが完了すると、画面はソングの選択画面に戻ります。

※ソングの演奏中はデリートソングを行なうことが出来ません。

ユーティリティモード

DD-1000のシステムやMIDI等の各種設定を行なう為のモードです。

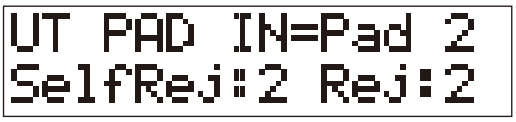
■ユーティリティモードの内容

ユーティリティモードは、以下の5つのグループで構成されています。

1. パッドトリガーセットアップ	**①セルフリジェクション/リジェクション**
	②ゲイン/ベロシティ
	③ベロシティカーブ
	④インクリメント/デクリメント
2. システム/音源の設定	**①マスターイコライザー**
	②ハイハットオフセット
	③トリガーバイパス
	④ファクトリーセット
3. シーケンサーグループ	**①クリックボイス**
	②クリックチューン
	③クリックノートナンバー
	④ユーズテンポ
	⑤MIDIコントロール
4. エフェクトセットアップ	**①リバーブタイプ、タイム**
5. MIDIセットアップ	**①ローカルコントロール**
	②MIDIマージ
	③プログラムチェンジメッセージの受信
	④システムエクスクルーシブメッセージの受信

■ユーティリティモードの設定手順

1．フロントパネルの[UTILITY]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



2．上記画面が表示された状態で[PAGE+[[PAGE-]ボタンを押して、設定を行なう項目を表示させます。

3．[SELECT]ボタンを押して設定の変更を行なう項目を点滅させます。

4．データダイアルを回し、各項目の値やオン/オフを設定します。

※ユーティリティモードの各メニュー画面での設定(ファクトリーセットを除く)は、そのままダイレクトにDD-1000本体に記憶されます。SAVE/ENTER作業の必要はありません。

1. パッドトリガーセットアップ

DD-1000に接続したパッドやトリガーセンサーからの、トリガー入力に関する設定を行なうためのモードです。

①セルフリジェクション/リジェクション

各入力端子について、ダブルトリガー（2度鳴り）やクロストーク（端子間での入力信号の混ざり合い）を防止するための設定を行ないます。

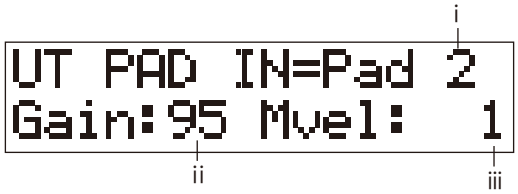
[UTILITY]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

ⅰ：設定を行なう入力端子番号を設定します。
ⅱ：セルフリジェクション/ⅰで指定した入力端子の、ダブルトリガーの発生を防止します。最初の入力が感知されてから、一定時間トリガーイベントを検出しないようにします。値が大きいほど検出しない時間が長くなります。
ⅲ：リジェクション/ⅰで指定した入力端子の、クロストークの発生を防止します。ここで指定した入力レベルに達していない他のパッドからの信号を、一定時間検出しません。値が大きいほど、強く叩かないとトリガーの検出をしないようになります。

値の設定はデータダイアルを回して行ないます。

②ゲイン/ベロシティ

各入力端子について、入力感度（ゲイン）の設定と、ベロシティの表現範囲（ミニマムベロシティ）の設定を行ないます。
セルフリジェクション/リジェクションの設定画面が表示された状態で[PAGE+]を押すと、以下の画面が表示されます。

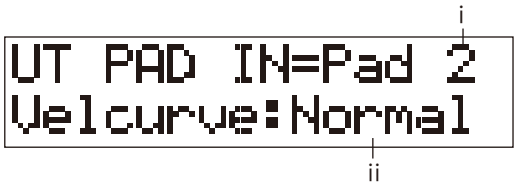


ⅰ：設定を行なう入力端子番号を設定します。
ⅱ：入力ゲイン/ⅰで指定した入力端子からの入力ゲイン（感度）を設定します。値が大きいほど、小さい音でも反応します。
ⅲ：ベロシティ最小値/最も弱くパッドを叩いたときに出力するMIDIベロシティ（音量）を設定します。ここで設定した値が大きいほど、小さい入力でも大きな音量で発音するようになりますが、音量全体の変化幅が狭くなりますので、ショットの強弱による音量の表現の幅が狭くなります。

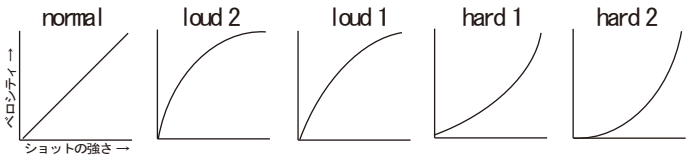
③ベロシティカーブ

各入力端子について、ショットの強さによるMIDIベロシティの変化特性(ベロシティカーブ)を設定します。

ゲイン/ミニマムベロシティの設定画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



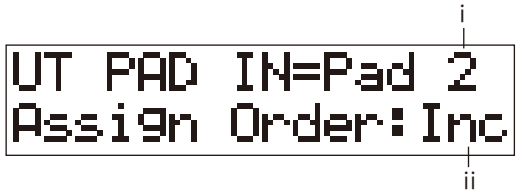
ｉ:設定を行なう入力端子番号を設定します。
ii:ベロシティカーブ/ｉで指定した入力端子のベロシティカーブを設定します。画面上の表示の意味は以下の通りです。



④インクリメント/デクリメント

指定したパッドを叩くことで、現在選択されているドラムキットナンバーが+1(インクリメント)、-1(デクリメント)するように、パッドの機能を設定します。

ベロシティカーブの設定画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



ｉ:インクリメント/デクリメント用パッドを設定してください。
ii:パッドを叩くことによりドラムキットナンバーがInc(+1)するか、Dec(-1)するかを設定します。

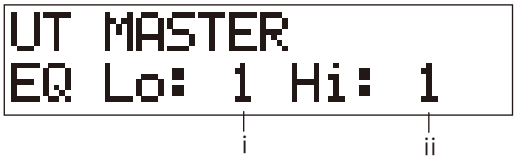
2. システム/音源の設定

DD-1000のシステム全体及び音源部分に関する設定を行なうためのモードです。

①マスターイコライザー

マスターイコライザーの設定を行ないます。

インクリメント/デクリメントの設定画面が表示された状態で、[PAGE+]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



ｉ:イコライザーの低域ゲインを設定します。(0db～12db)
値を上げるほど低域が強調されます。
ii:イコライザーの高域ゲインを設定します。(0db～12db)
値を上げるほど高域が強調されます。

②ハイハットオフセット

リアパネルのHI-HAT CONTROL端子に接続したフットコントローラーによる送信データの値に対して、ここで設定した値の分だけプラスマイナスすることが出来ます。

マスターイコライザーの設定画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

ｉ:ハイハットオフセット/ここで設定した値が小さいほど、フットコントローラーの踏み込みが浅いポイントで発音するようになります。
ハイハットコントロールの場合は, クローズによる踏み込みのポイントを微調整できます。

③トリガーバイパス

DD-1000に接続されている全てのパッド(ハイハットコントローラーも含む)からのトリガー信号を受け付けなくする設定です。
ボイスの発音もMIDIの出力も停止します。

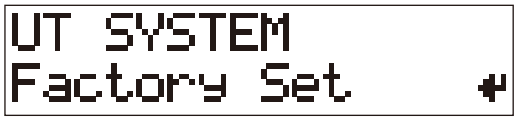
ハイハットオフセットの設定画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

ｉ:トリガーバイパスのオン/オフを設定します。トリガーバイパスオフで通常の発音モードとなり、トリガーバイパスオンで信号を受信しなくなります。

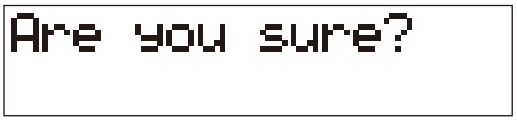
④ファクトリーセット

DD-1000の内部の設定をすべて、工場出荷時の状態に戻します。

トリガーバイパスの設定画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



上記画面が表示された状態で[[SAVE/ENTER]ボタンを押すと確認を促す以下の画面が表示されます。



もう一度[SAVE/ENTER]ボタンを押すとファクトリーセットは完了し、すべてのデータが工場出荷時の状態に書き換えられます。

ファクトリーセットを実行すると、現在DD-1000に設定されている内容はすべて工場出荷時の状態に書き換えられてしまいます。大切なデータを失わないようにご注意下さい。必要な設定やソングデータ等は、データファイラー等の外部機器に保存しておくことをおすすめします。

3. シーケンサーグループ

シーケンサー(ソング)に関する各種設定を行なうモードです。

①クリックボイス

クリック音で鳴る音の一拍目の音色(ボイス)を設定します。

ファクトリーセットの設定画面が表示された状態で、[PAGE+]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

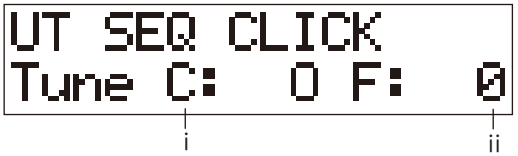
ⅰ:クリック音の一拍目に鳴るサウンドのボイスの分類を選択します。
→P.13(ボイスの設定/ボイスの分類の項参照)
ⅱ:クリック音の一拍目に鳴るサウンドのボイスナンバーを選択します。
→P.__(ボイスリスト参照)

設定項目の切り替えは、[SELECT]ボタンを押してください。点滅している項目の値が設定可能となります。

②クリックチューン

①で設定したクリックボイスの音程とピッチの設定を行ないます。

クリックボイスの設定画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。



ⅰ:コースチューン/クリックボイスの音程を半音単位で設定します。
設定範囲(-24～0～24)
値が0の時、キーはCとなります。そこから±1ごとに音程は半音ずつ上下します。
ⅱ:ファインチューン/クリックボイスの音程を約1.17セント単位で微調整します。
設定範囲(-64～0～+63)
値が0の時、キーはCとなります。そこから±1ごとに音程は約1.17セントずつ上下します。

設定項目の切り替えは、[SELECT]ボタンを押してください。点滅している項目の値が設定可能となります。

.

③クリックノートナンバー

クリック音で鳴る音のMIDIノートナンバーを設定します。

クリックチューンの設定画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

データダイアルを回し、MIDIノートナンバー(0～127)を設定します。

④ユーズテンポ

ソングを切り替えた際に、そのソングにあらかじめ設定されているテンポで再生するか、現在設定されているテンポのままで再生するかを設定します。

クリックノートナンバーの設定画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

Song:切り替えたソングにあらかじめ設定されているテンポで再生します。
Global:現在設定されているテンポで再生します。

データダイアルを回し、設定を行ないます。

⑤MIDIコントロール

システムリアルタイムメッセージ(スタート/ストップ/コンティニュー)の送受信を行なうかどうかの設定を行ないます。
DD-1000から外部のシーケンサーやリズムマシンをコントロールしたり、逆に外部のMIDI機器からDD-1000をコントロールすることが出来ます。

ユーズテンポの設定画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

MIDIコントロールをオンにすると、システムリアルタイムメッセージを送受信します。オフにするとシステムリアルタイムメッセージの送受信をしません。

オン/オフの切り替えはデータダイアルを回して行ないます。

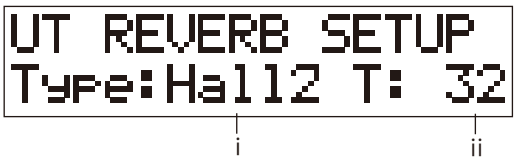
4. エフェクトセットアップ

DD-1000に内蔵されているエフェクターの設定を行ないます。

①リバーブタイプ、タイム

使用するリバーブエフェクトのタイプとリバーブタイムを設定します。

MIDIコントロールの設定画面が表示された状態で、[PAGE+]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



ｉ:リバーブのタイプを以下の7種類の中から設定します。

Room1 :狭い部屋をシュミレーションしたリバーブ
Room2 :広い部屋をシュミレーションしたリバーブ
Room3 :天井の高い部屋をシュミレーションしたリバーブ
Hall1 :小ホールをシュミレーションしたリバーブ
Hall2 :大ホールをシュミレーションしたリバーブ
Plate :金属的な響きを持つリバーブ
Delay :ディレイ

ⅱ:リバーブタイムを設定します。リバーブの響き方が変わります。
設定範囲:0～127
値が大きいほどリバーブのかかり具合は強くなります。

設定項目の切り替えは、[SELECT]ボタンを押してください。点滅している項目の値を、データダイアルを回して設定します。

4. MIDIセットアップ

DD-1000MIDIに関する設定を行ないます。

①ローカルコントロール

ローカルコントロールのオン/オフを設定します。

リバーブの設定画面が表示された状態で、[PAGE+]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

ローカルコントロールをオフにすると、パッドのトリガー入力によるMIDI信号を音源部に送らないため、DD-1000の音源部から音が出なくなります。
MIDIアウト端子からはMIDI信号が出力されます。

ローカルコントロールをオンにすると、通常動作となります。
DD-1000の音源部にもMIDIアウト端子にもMIDI信号を送信します。

②MIDIマージ

MIDIマージ機能のオン/オフを設定します。
MIDIマージをオンにすると、MIDI INから受信した外部MIDI機器からのデータを、DD-1000本体の信号とミックスしてMIDI OUT端子に出力します。

ローカルコントロールの設定画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

on :MIDI OUT端子にも出力します。

off :通常の状態。MIDI OUT端子に出力しません。(内部動作のみ)

③プログラムチェンジメッセージの受信

全てのMIDIチャンネルについて、プログラムチェンジメッセージの受信を行なうかどうかの設定を行ないます。

MIDIマージの設定画面が表示された状態で[PAGE+]ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

on :プログラムチェンジメッセージを受信します。

off :プログラムチェンジメッセージを受信しません。

④システムエクスクルーシブメッセージの受信

全てのMIDIチャンネルについて、システムエクスクルーシブメッセージの受信を行なうかどうかの設定を行ないます。

プログラムチェンジメッセージの設定画面が表示された状態で、[PAGE+]ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

on :システムエクスクルーシブメッセージを受信します。

off :システムエクスクルーシブメッセージを受信しません。

資料編

DD-1000に内蔵されているボイスやソング、キットのリスト
MIDIインプリメンテーションチャートなどの資料集です。

仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
ドラムボイスリスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
プリセットドラムキットリスト・・・・・・・・・・・・・・２９
プリセットソングリスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
MIDIインプリメンテーションチャート・・・・・・・・・３１

仕様

◆発音方式

16-bit PCM音源

◆最大同時発音数

38音

◆音色数

389ボイス

◆キット数

プリセットキット　20

ユーザーキット　10

◆ソング

プリセットソング　50

ユーザーソング　4

録音方式　リアルタイムレコーディング

◆シーケンサー

トラック数　2

ノートメモリー数　約6000ノート

◆コントロール

POWER,SONG,VOICE,UTILITY,KITS,PAD ASSIGN
DRUM OFF,TEMPO/TAP,START/STOP,MAIN VOLUME
AUX IN VOLUME,ACCOMP+/-,PAGE+/-,SAVE/ENTER
SELECT,CLICK,RECORD,DEMO,DATA DIAL

◆接続端子

AUX OUT(ステレオ・フォンジャック)

AUX IN(ステレオ・フォンジャック)

HI-HAT CONTROL(ステレオ・フォンジャック)

TRIGGER入力端子×8(モノラル・フォンジャック)

1.HI-HAT
2.SNARE
3.TOM 1
4.TOM 2
5.TOM 3
6.RIDE
7.CRASH
8.KICK

MIDI IN端子

MIDI OUT端子

PHONES(ステレオ・フォンジャック)

DC IN 9V

◆電源電圧

DC9V 500mA:電源アダプタ(セット付属品)

◆消費電力

1.2W

◆寸法

264(W)×225(D)×73(H)

◆重量

28kg

ドラムボイスリスト

●ドラムボイスの分類

K：アコースティックなキック
k：エレクトリックなキック
S：アコースティックなスネア
s：エレクトリックなスネア
T：アコースティックなタム
t：エレクトリックなタム
C：シンバル
H：ハイハット
P：パーカッション

K: Acoustic Kick

1 BD HEAD
2 Bass Drum
3 Real BD1
4 Real BD2
5 Real BD3
6 Real BD4
7 Real BD5
8 Real BD6
9 BD Std1
10 BD Std2
11 Room BD1
12 Room BD2
13 Lo BD
14 BD-Var1
15 Room BD3
16 Rock BD1
17 Rock BD2
18 Rock BD3
19 Rock BD4
20 Rock BD5
21 Rock BD6
22 BD-Var2
23 BD-Var3
24 BD-Var4
25 BD-Var5
26 BigDrum1
27 BigDrum2

k: Electric Kick

1 BD-Analog
2 BD-Elect
3 Hard BD1
4 MrDance1
5 MrDance2
6 MrDance3
7 MrDance4
8 MrDance5
9 BD-Ana1
10 BD-Ana2
11 Lo-BD1
12 Lo-BD2
13 Lo-BD3
14 Hard BD2
15 Hard BD3
16 Bask BD
17 Killer BD

S: Acoustic Snare

1 SD-Std1
2 SD-Std2
3 SD-Std3
4 SD-Std4
5 SD-Std5
6 SD-R1
7 SD-R2
8 SD-R3
9 SD-R4
10 SD-R5
11 Snare1
12 Snare2
13 Snare3
14 Snare4
15 Snare5
16 Snare6
17 Snare7
18 SD-RK1
19 SD-RK2
20 SD-RK3
21 SD-RK4
22 SD-RK5
23 SD-RK6
24 SD-RK7
25 SD-RK8
26 SD-RK9
27 SD-RM1
28 SD-RM2
29 SD-RM3
30 SD-RM4
31 SD-RM5
32 SD-RM6
33 SD-RM7
34 SD-RM8
35 SD-RM9
36 SD-Sen1
37 SD-Sen2
38 SD-Sen3
39 SD-Sen4
40 SD-Sen5
41 SD-Sen6
42 SD-Sen7
43 SD-Sen8
44 SD-Sen9
45 SD-Sen10
46 SD-Sen11
47 SD-Sen12
48 SD-Std21
49 SD-Std22
50 SD-Std23
51 SD-Std24
52 SD Std25
53 SD-Std26
54 SD-Std27
55 SD-Std28
56 SD-Std29
57 SnareDr1
58 SnareDr2
59 SnareDr3
60 SnareDr4
61 SnareDr5
62 SnareDr6
63 SnareDr7
64 SnareDr8
65 SidStik1
66 SidStik2
67 Rim1
68 SnarTimb
69 SnarR1+
70 SnarR2+
71 RowDrum1
72 RowDrum2
73 RowDrum3

s: Electric Snare

1 SD-Ana1
2 SD-Ana2
3 SD-Ana3
4 SD-Ana4
5 SD-Ana5
6 SD-Ana6
7 SD-Ana7
8 SD-Ana8
9 SD-Ana9
10 SD-Ana10
11 SD-Ana11
12 SstickA1
13 SD-Danc1
14 SD-Danc2
15 SD-Danc3
16 SD-Danc4
17 SD-Danc5
18 SD-Danc6
19 SD-Elec
20 Syn-SD1
21 Syn-SD2
22 Syn-SD3
23 Syn-SD4
24 Syn-SD5
25 Syn-SD6
26 Syn-SD7
27 Syn-SD8
28 Syn-SD9
29 Syn-SD10
30 Syn-SD11
31 Cool-SD1
32 Cool-SD2
33 Cool-SD3
34 Cool-SD4
35 Cool-SD5
36 Cool SD6
37 Cool-SD7
38 Cool-SD8
39 Cool-SD9
40 Rim-Cool
41 Coolrol1
42 Coolrol2
43 Coolrol3
44 Coolrol4
45 HD-SD1
46 Brush1
47 Brush2
48 Brush3
49 Brush4
50 Brush5
51 Brush6
52 Brush7
53 Brush8
54 Brush9
55 Brush10
56 Brush11+
57 Brush12+
58 Brush13+
59 Brush14+

T: Acoustic Tom

1 Tom-Std6
2 Tom-Std5
3 Tom-Std4
4 Tom-Std3
5 Tom-Std2
6 Tom-Std1
7 Tom-JazH
8 Tom-JazM
9 Tom-JazL
10 Tom-JazF
11 Tom-BrsH
12 Tom-BrsM
13 Tom-BrsL
14 Tom-BrsF
15 Tom-BRKH
16 Tom-BRKM
17 Tom-BRKL
18 Tom-BRKF
19 Tom-Rom6
20 Tom-Rom5
21 Tom-Rom4
22 Tom-Rom3
23 Tom-Rom2
24 Tom-Rom1
25 Tom-Rok6
26 Tom-Rok5
27 Tom-Rok4
28 Tom-Rok3
29 Tom-Rok2
30 Tom-Rok1
31 Tom-VarH
32 Tom-VarM
33 Tom-VarL
34 Tom-VarF
35 Tom-Rm1H
36 Tom-Rm1M
37 Tom-Rm1L
38 Tom-Rm1F
39 Tom-Rm2H
40 Tom-Rm2M
41 Tom-Rm2L
42 Tom-Rm2F

t: Electric Tom

1 TomH-A
2 TomM-A
3 TomL-A
4 TomF-A
5 Tom-A6
6 Tom-A5
7 Tom-A4
8 Tom-A3
9 Tom-A2
10 Tom-A1
11 TomT1H
12 Tom-T1M
13 Tom-T1L
14 Tom-T1F
15 Tom-T3H
16 Tom-T3M
17 Tom-T3L
18 T\om-T3F
19 Tom-AnH
20 Tom-AnM
21 Tom-AnL
22 ToM-AnF
23 Tom-E16
24 Tom-E15
25 Tom-E14
26 Tom-E13
27 Tom-E12
28 Tom-E11
29 Tom-HH
30 Tom-HM
31 Tom-HL
32 Tom-HF

ドラムボイスリスト

C: Cymbal

1 ClashStd
2 CrashBrt
3 CrashSt2
4 SftCrash
5 CrashSt3
6 CrashSht
7 CrshThin
8 CrashRev
9 CrashRol
10 CrashSt4
11 RideBel1
12 RK Ride1
13 RK Ride2
14 RideBStd
15 RideStd1
16 RK Std2
17 RideBel2
18 RideBel3
19 LightRid
20 ChinaBoy
21 ChinaByH
22 SplashC1
23 SplashC2
24 Cymbel1
25 Cymbel2
26 Cymbel3
27 MangGng1
28 M.Gong1M
29 MangGng2
30 M.Gong2M
31 MangGng3
32 M.Gong3M
33 BigGong1
34 B.Gong1M
35 BigGong2
36 B.Gong2M
37 B.Cymbl1
38 B.Cymb1M
39 B.Cymbl2
40 B.Cymb2M
41 S.Cymbl2
42 S.Cymb2M
43 SmalGong
44 S.GongM
45 TenGong1
46 TenGng1M
47 DogGong
48 DogGongM

H: Hi-Hat

1 H.H Cls1
2 H.H Cls2
3 H.H Cls3
4 H.H Cls4
5 H.H Opn1
6 H.H ClsH
7 H.HCNor1
8 H.HCNor2
9 RK HHcls
10 H.H Opn2
11 H.H Opn3
12 H.H Opn4
13 Open HH1
14 Open HH2
15 Open HH3
16 Open HH4
17 Open HH5
18 Open HH6
19 RK HHOpn
20 Open HH7
21 HH pedl1
22 HH pedl2
23 HH pedl3
24 Ana HH1
25 Ana HH2

P: Percussion

1 Agogo-1
2 Agogo-2
3 Bell Tre
4 Bongo Hi
5 Bongo Lo
6 Cabasa1
7 Cabasa2
8 Castanet
9 ClapA
10 Clavis1
11 Clavis2
12 Conga-Hi
13 Conga-M1
14 Conga-M2
15 Conga-3
16 Conga-4
17 Conga-5
18 Cowbell1
19 Cowbell2
20 CuicaH
21 CuicaL
22 Fsnap
23 Guiro1
24 Guiro2
25 HiQ
26 JingBell
27 Maracas1
28 Maracas2
29 MetroBel
30 MetroClk
31 Scrach
32 Shake
33 Surdo1
34 Surdo2
35 Tabla 1
36 Tabla 2
37 Tabla 3
38 Tabla 4
39 TalkD
40 TalknDrD
41 TalknDrU
42 TalknDrV
43 Tambouri
44 TimbleH
45 TimbleL
46 TimblePH
47 TimblePL
48 Triangle
49 TriagMut
50 VibrSlap
51 Whistal
52 XfadeTri
53 Smallwod
54 BoardDr1
55 BoardDr2
56 LotusBrd
57 BanbuBrd
58 SouyhBan
59 B.WdFish
60 S.WdFish1
61 S.WdFish2
62 S.WdFish3
63 S.WdFish4

プリセットドラムキットリスト

Kit 1,21	Standard1
1 kick	K/ 3 BD DRY1
2 snare	S/15 Wood Sn
3 tom1	T/2 DRY GM5
4 tom2	T/4 DRY GM3
5 tom3	T/6 GRY GM1
6 ride	C/11 RideLite
7 crash	C/1 CrashB
Open	H/20 Hhopen#1
Close	H/1 H Cls01
Pedal	H/22 H PdlLit

Kit 2	Standard2
1 kick	K/ 3 BD DRY1
2 snare	S/65 S SStck3
3 tom1	T/2 DRY GM5
4 tom2	T/4 DRY GM3
5 tom3	T/6 GRY GM1
6 ride	C/11 RideLite
7 crash	C/1 CrashB
Open	H/20 Hhopen#1
Close	t/1 Ana 1Hi
Pedal	H/22 H PdlLit

Kit 3,22	Dance 1
1 kick	k/ 4 BDDance1
2 snare	S/6 AnalogH1
3 tom1	t/6 AnlgTom5
4 tom2	t/8 AnlgTom3
5 tom3	t/10 AnlgTom1
6 ride	C/11 RideLite
7 crash	C/2 BriteCrs
Open	H/24 H OpnAMu
Close	H/4 H ClsA2
Pedal	H/3 1 H ClsA1

Kit 4,23	Jazz Latin
1 kick	K/ 8 2HeadHi
2 snare	S/65 S SStck3
3 tom1	T/8 Jazz Mid
4 tom2	T/10 Jazz Flr
5 tom3	T/41 Room2 Lo
6 ride	C/11 RideLite
7 crash	C/1 CrashB
Open	H/20 Hhopen#1
Close	H/1 H Cls01
Pedal	H/22 H PdlLit

Kit 5,24	Room 1
1 kick	K/ 11 BD Room2
2 snare	S/3 MapleA50
3 tom1	T/21 Room 4
4 tom2	T/22 Room 3
5 tom3	T/24 Room 1
6 ride	C/11 RideLite
7 crash	C/2 BriteCrs
Open	H/20 Hhopen#1
Close	H/1 H Cls01
Pedal	H/22 H PdlLit

Kit 6	Electric
1 kick	K/ 18 BD GateM
2 snare	S/63 RockL
3 tom1	t/25 E Tom4
4 tom2	t/25 E Tom3
5 tom3	t/28 E Tom1
6 ride	C/11 RideLite
7 crash	C/2 BriteCrs
Open	H/20 Hhopen#1
Close	H/1 H Cls01
Pedal	H/22 H PdlLit

Kit 7	Brush
1 kick	K/ 12 BD Room5
2 snare	S/53 BrshTap2
3 tom1	T/11 BrshJzHi
4 tom2	T/13 BrshJzLo
5 tom3	T/14 BrshJzF1
6 ride	C/13 RideRoc2
7 crash	C/1 CrashB
Open	H/20 Hhopen#1
Close	H/1 H Cls01
Pedal	H/22 H PdlLit

Kit 8	Room_stick
1 kick	K/ 11 BD Room2
2 snare	S/65 S SStck3
3 tom1	T/21 Room 4
4 tom2	T/22 Room 3
5 tom3	T/24 Room 1
6 ride	C/11 RideLite
7 crash	C/2 BriteCrs
Open	H/20 Hhopen#1
Close	H/1 H Cls01
Pedal	H/22 H PdlLit

Kit 9	Latin 1
1 kick	K/ 3 BD DRY1
2 snare	S/15 Wood Sn
3 tom1	T/2 DRY GM5
4 tom2	T/4 DRY GM3
5 tom3	T/5 GRY GM2
6 ride	C/11 RideLite
7 crash	C/2 BriteCrs
Open	P/18 CowB1
Close	P/18 CowB1
Pedal	H/22 H PdlLit

Kit 10	Latin 2
1 kick	K/ 3 BD DRY1
2 snare	S/65 S SStck3
3 tom1	T/2 DRY GM5
4 tom2	T/4 DRY GM3
5 tom3	T/5 GRY GM2
6 ride	C/11 RideLite
7 crash	C/2 BriteCrs
Open	P/18 CowB1
Close	P/18 CowB1
Pedal	H/22 H PdlLit

Kit 11	Jazz
1 kick	K/ 8 HeadHi
2 snare	S/3 MapleA50
3 tom1	T/8 Jazz Mid
4 tom2	T/10 Jazz Flr
5 tom3	T/41 Room2 Lo
6 ride	C/11 RideLite
7 crash	C/1 CrashB
Open	H/20 Hhopen#1
Close	H/1 H Cls01
Pedal	H/22 H PdlLit

Kit 12,25	Brush 2
1 kick	K/ 12 BD Room5
2 snare	S/50 BrshSlp
3 tom1	T/12 BrshJzMd
4 tom2	T/14 BrshJzF1
5 tom3	T/18 BrshRkF1
6 ride	C/13 RideRoc2
7 crash	C/22 C Splsh1
Open	s/46 BrshAtak
Close	s/46 BrshAtak
Pedal	H/22 H PdlLit

Kit 13	Dance-stick
1 kick	K/ 4 BDDance1
2 snare	s/48 BrshHit2
3 tom1	t/6 AnlgTom5
4 tom2	t/8 AnlgTom3
5 tom3	t/10 AnlgTom1
6 ride	C/11 RideLite
7 crash	C/2 BriteCrs
Open	H/24 H OpnAMu
Close	H/4 H ClsA2
Pedal	H/3 H ClsA1

Kit 14,26	Orchestra
1 kick	1K/25 GrnCassa
2 snare	S/11 Tosh Sn
3 tom1	T/42 Room2Flr
4 tom2	T/10 Jazz Flr
5 tom3	T/41 Room2 Lo
6 ride	C/25 Hcym1
7 crash	C/26 HcymOpnL
Open	H/20 Hhopen#1
Close	H/1 H Cls01
Pedal	H/22 H PdlLit

Kit 15,27	Drum&bass
1 kick	k/ 4 BDDance1
2 snare	s/30 AnVelRim
3 tom1	s/27 AnaShh
4 tom2	s/11 AnHitRim
5 tom3	k/15 BDRevers
6 ride	C/14 RidesizC
7 crash	C/7 PaperThn
Open	H/4 H ClsA2
Close	H/3 H ClA1
Pedal	H/24 H OpnAMu

Kit 16	House
1 kick	k/ 4 BDDance1
2 snare	s/18 Dance06
3 tom1	s/ 7 AnalogL1
4 tom2	s/19 Electrik
5 tom3	P/43 TambA
6 ride	C/8 ReverseC
7 crash	C/6 FastCras
Open	H/19 HHRoKopn
Close	H/20 Hhopen#1
Pedal	H/21 H Pdl13

Kit 17,28	R&B
1 kick	K/ 4 BDDance1
2 snare	s/17 Dance05
3 tom1	s/18 Dance06
4 tom2	s/2 AnaDark
5 tom3	P/43 TambA
6 ride	C/13 RideRoc2
7 crash	C/3 C Crash
Open	H/24 H OpnAMu
Close	H/16 H OpnLK
Pedal	H/15 H OpnL3

Kit 18,29	Jungle
1 kick	k/ 1 AnaQuick
2 snare	s/ 6 AnalogH1
3 tom1	S/56 RIMrock
4 tom2	t/12 TEKK 1M
5 tom3	t/6 AnlgTom5
6 ride	C/11 RideLite
7 crash	C/2 BriteCrs
Open	H/24 H OpnAMu
Close	H/4 H ClsA2
Pedal	H/3 H ClsA1

Kit 19,30	CHINA LUOGU
1 kick	K/26 DAGU1
2 snare	P/55 GUBAN2
3 tom1	S/72 PAIGU 2
4 tom2	S/71 PAIGU 1
5 tom3	C/35 DALUO2
6 ride	C/39 DAPO2
7 crash	P/64 PENGLIN1
Open	C/41 XIAOPO
Close	C/42 XIAOPOM
Pedal	C/41 XIAOPO

Kit 20	Oriental 1
1 kick	K/26 DAGU1
2 snare	S/72 PAIGU 2
3 tom1	C/33 DALUO1
4 tom2	C/41 XIAOPO
5 tom3	C/35 DALUO2
6 ride	C/37 DAPO1
7 crash	C/39 DAPO2
Open	C/41 XIAOPO
Close	C/42 XIAOPOM
Pedal	C/41 XIAOPO

プリセットソングリスト

1. New World
2. Hot Samba
3. Organ Funk
4. Manbo
5. Speed
6. Holiday
7. Hip Hop
8. Walk
9. Brush Jazz
10. Trance
11. Hard Rock 1
12. Hard Rock 2
13. Slow Rock
14. Rock & Pop 1
15. Rock & Pop 2
16. Rock & Pop 3
17. Rock & Pop 4
18. Salsa
19. Beguin
20. Bossanova
21. Reggae
22. Funk 1
23. Funk 2
24. Funk 3
25. Shuffle
26. Fusion
27. Big Band
28. Jazz
29. Disco
30. House
31. Jungle
32. R & B 1
33. R & B 2
34. R & B 3
35. R & B 4
36. Rock 'n' Roll 1
37. Rock 'n' Roll 2
38. 8 Beat 1
39. 8 Beat 2
40. 16 Beat 1
41. Ballad 1
42. Ballad 2
43. Ballad 3
44. Ballad 4
45. Ballad 5
46. Ballad 6
47. Waltz
48. March
49. Jing Opror
50. Chinise Rythm

DD-1000 MIDI Implementation Chart

Function		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic	Default	10ch	1-16ch	
Channel	Changed	×	1-16ch	
	Default	×	3	
Mode	Messages	×	×	
	Altered	**********	×	
Note		0—127	0—127	
Number :	True voice	**********	0—127	
Velocity :	Note on	○ 9nH, V=1-127	○ 9nH, V=1-127	
	Note off	× (9nH, V=0)	× (9nH, V=0; 8nH, V=0-127)	
After	key' s	×	×	
Touch	Ch' s	×	×	
Pitch Bend		○	○	
Control	0	×	○	Bank Select
Change	1	×	○	Modulation
5		×	○	Portamento Time
6		×	○	Data Entry
7		×	○	Volume
10		×	○	Pan
11		×	○	Expression
64		×	○	Sustain Pedal
65		×	○	Portamento ON/OFF
66		×	○	Sostenuto Pedal
67		×	○	Soft Pedal
80		×	○	Reverb Program
81		×	○	Chorus Program
91		×	○	Reverb Level
93		×	○	Chorus Level
120		×	○	All Sound Off
121		×	○	Reset All Controllers
123		×	○	All Notes Off
Program		×	○	
Change :	true #	×	0—127	
System Exclusive		×	○	
System	:Song Position	×	×	
Common	:Song Select	×	×	
: Tune		×	×	
System	:Clock	×	×	
Real Time	:Commands	×	×	
Aux	:LOCAL ON/OFF	×	×	
	:All Notes Off	×	○	
Messages	:Active sense	×	○	
:Reset		×	×	
Notes:				

Mode 1: OMNI ON , POLY Mode 2 : OMNI ON , MONO ○ : YES

Mode 3: OMNI OFF , POLY Mode 4 : OMNI OFF , MONO × : NO

製造元

Kyoritsu Corporation
NAGOYA/TOKYO/OSAKA/FUKUOKA

株式会社　キョーリツコーポレーション

本社　〒468-0002 名古屋市天白区焼山1-813
TEL:052-847-5300(代)　FAX:052-847-5310

東京営業所　〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町6-10 丸森ビル5階
TEL:03-5614-2081　FAX:03-5614-2166

大阪営業所　〒564-0051 大阪府吹田市豊津町11-34第10マイダビル406号
TEL:06-6310-7833　FAX:06-6310-7858

福岡営業所　〒812-0029 福岡県博多区古門戸町2-4 KSコモンドビル201号
TEL:092-271-1125　FAX:092-271-1203